

**サイン・コサイン・タンジェント！
数学記号は苦手じゃないのよ、インド人**

メイド・イン・インド ～世界のトップ人材を産み出すインドの数学力～

▶ **インド人は数学が得意**

最初に0（ゼロ）の概念を発見したのはインド人！グローバルIT企業トップにもインド人が多く活躍！と聞くことがあるように、インド人は、理数系思考に必要な数学のセンスが高い傾向にあります。特に重要なのは、インド人は数学を面白い物として考え、身につける技能としてもプラスにとらえています。

一方、日本では、小学校高学年位から算数の問題が難しくなると苦手意識に繋がり、算数・数学嫌いになってしまいます（国際平均よりも苦手意識が高い）。好きこそものの上手なれ、と言うように、子供の頃からの考え方が日本とインドでは違うようです。インド人は数学が得意ですが、本当に数学ができるインド人は、海外に出てキャリアアップを目指すそうです。

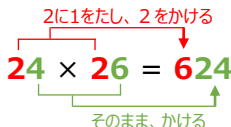
教育面では、日本人は、九九（9×9）の掛け算を暗記しますが、インド人は20×20程度まで暗記（教育を受けた時代や場所により異なる）し、思考の幅を広げます。数学的思考を広げ、物事を幾何学的に理解するには、学問に対して面白さを感じることはとても大事です。

▶ **面白いインド式計算方法**

ここでは数学的本質については割愛し、インド式計算方法を2種類ご紹介。※かなりの種類・条件があります。

左の数が同じ場合の掛け算

(例題) 24×26



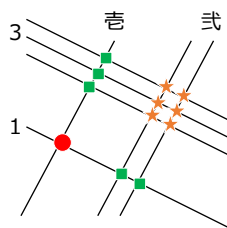
- ① 24の十の位「2」に「1」を足した「3」と右側の「2」をかける
- ② 24の一の位「4」と26の一の位「6」をかける「24」
- ③ つなげると、(3×2) & (4×6) は、「624」

(例題) 95×95

- ① ((9+1) × 9) & (5×5) は、「9025」
- ※ 15×15、25×25のように、一の位が「5」だと成立しやすいようです

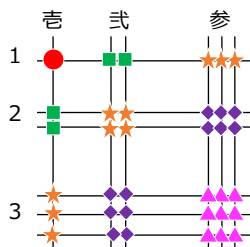
インド式棒算

(例題) 13×12



- ① 13の十の位「1」と一の位「3」に分けて、線を引く
- ② 12の十の位「壹」と一の位「弐」に分けて線を引く
- ③ 交点を数え、●が1つ、■が5つ、★が6つで、「156」

(例題) 123×123



- ① 123を「1」、「2」、「3」に分ける
- ② 123を「参」、「弐」、「壹」に分ける
- ③ ●が1、■が4、★が10、◆が12、▲が9で、「1 4 10 12 9」
- ④ 合計が2桁なら2桁目を左に足し、「1 5 1 2 9」
- ⑤ 「15129」

インド人のような数学的思考を養わせたいという親心から、ここ日本でも、インド系インターナショナルスクールに通う日本人の子どもが増えています。これまでは、インド人が多かったものの、ここ数年で日本人が「多数派」になっているようです（一部コロナ禍による経済の停滞も原因）。留まることを知らないテクノロジー需要の高まりも相俟って、ますますインド人の数学的思考から目が離せなくなってきました！

出所：各種資料を基にバインブリッジ・インベストメンツ作成。上記は、計算条件を伴う一部の紹介であり、全ての計算に当てはまるものではありません。

ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会